

# 知道 CHIDO-KAIHO 会報

# 67

編集 知道会広報委員会  
〒310-0011 水戸市三の丸3-10-1  
茨城県立水戸第一高等学校内  
発行人 西野虎之介  
発行日 平成17年10月7日  
通巻 第67号  
メール info@chidokai.jp

目次	企画	映画「夜のピクニック」撮影日記	2
	一高だより	快拳 陸上競技部ほか	4
	同窓会・支部だより	勝田知道会ほか	6
	PERSON	牧二郎氏	7

## 11月12日(土) 知道会会員の集いを開催 会場は常陽藝文センター



平成17年度(第55期)「知道会会員の集い」を次の通り開催いたします。3学年の当番制による開催も今年で4年目を迎え、内容も充実し安定してきました。昨年同様、今年も常陽藝文センターでの開催となります。多数の会員の皆様のご参加をお待ちしております。

出席される方は、同封の葉書で10月31日までに返信してください(欠席の場合は投函しないでください)。

日時/平成17年11月12日(土)  
午後2時30分～5時15分  
場所/常陽藝文センター7階ホール  
水戸市三の丸1-5-18  
電話029-231-6611  
(水戸駅北口徒歩8分)

会費/5,000円

内容

### 《第1部 記念講演会》

午後2時30分～3時30分  
講師:八剣 洋一郎(昭49卒)  
演題:「ウィルコム of PHS 逆転戦略」



八剣洋一郎氏



一外資系企業と日本企業の文化の違いを比較し、昨今話題になっている無線技術を解説。存亡の危機に立たされた日本生まれの技術、PHS復活にかける戦略を披露—

### 【講師プロフィール】

東京工業大学理学部卒。  
日本アイ・ビー・エム グローバル・サービス事業部長、AT&T グローバル・サービス代表取締役社長、日本テレコム顧問を歴任。

現在、株式会社ウィルコム代表取締役社長。

※ウィルコム=今年2月、DDIポケットから社名変更

### 《第2部 懇親会》

午後3時40分～5時15分  
今年は昭和59年卒の担当で、ジョージ本田(プランニングファクトリーオフィス・ダブルゼロ)のマジックショーを交え、楽しい会になる

よう企画しています。ぜひご参加ください。

## 代議員会議を同時開催

第14回代議員会議を次の通り開催いたします。

各学年、地域・職域の代議員の多数の出席のもと、第55期の会務の審議をお願いいたします。

日時/平成17年11月12日(土)  
午後1時30分～2時10分  
場所/常陽藝文センター7階ホール  
議題

- 第54期事業報告
- 第54期決算報告
- 会計監査報告
- 第55期事業計画(案)
- 第55期予算(案)
- その他

## 映画「夜のピクニック」 水戸一高 真夏のロケ日記

本校出身の作家恩田陸さん(昭59卒)が伝統行事「歩く会」を題材に描いた青春小説「夜のピクニック」(新潮社刊)の映画化が全国的な話題を呼んでいる。この夏、ロケ撮影チームが水戸入りし、水戸市内や東海村などを舞台に実際の歩く会コースに準じて撮影が進められた。ベストセラーの映画化とあって、現役生徒と教職員、父兄、OBらも含め、多くの一高関係者がエキストラや制作スタッフとして撮影に協力。猛暑や迫り来る台風に悩まされながらも、早朝から深夜までロケ隊は県内を走り回った。約40日間の足跡を追ってみた。



長澤監督(右端)と話し合う郭さん、石田さん、多部さん、池松さん(左から)

が発生。

### 7月28日 最初の「夜」

ロケ撮影は最初の山場に入った。初の夜間ロケは「中休止」にあたる夕方の休憩所シーン。那珂総合運動公園の一角を休憩所に仕立て、おにぎりや豚汁、バナナ、お菓子などを配る場面だ。午後5時過ぎから準備が始まり、日が暮れてクレーンの照明が入り、白いジャージ姿のエキストラ約二百人が入ってくると、あたりは本物そっくりの雰囲気。那珂・瓜連地区の父兄も「炊き出しチーム」のエキストラとして参加。助監督から演技指導を受けた。最初の「夜」撮影だけに、何度も撮り直しが指示される。夜が更けてもまだまだ終わる気配はない。バイクや車の走る音に撮影がたびたび中断される。最初は緊張していたエキストラたちも映画を撮るときの「待ち時間」には驚かされ、疲労の色がのぞく。座り込んでうつむく姿もまた本物そっくり。撮影は結局明け方近くまで続いた。

### 8月2日 1000人の「北高生」が集合

「歩行祭」の出発式シーン。水戸一高グラウンド全面を使って出発シーンを撮影するため、朝から激しい日差しが照りつける中、さまざまな学生たちが続々と学校に詰め掛けてきた。この日のため硬式野球部の練習は別グラウンドを確保、吹奏楽部も練習を控えてもらい、女性エキストラの着替え場所として校舎を提供するなど、学校側も全面的にバックアップ。スタッフが桜並木にホースで水をかけている。何の演出かという、実はセミを追い払っているのだった。物語の舞台は「秋」。録音スタッフにとって、セミは最大の敵らしい。

大学生、水戸市内の中학생まで動員をかけた甲斐があり、最終的には約1,000人のエキストラがグラウンドに集結した。校長先生役の俳優田山涼成さんが壇上に上がり、制服姿の北高応援団が勇ましく太鼓を打ち鳴らす中、のぼり旗を掲げてクラスごとに並んだエキストラは「オーッ」と氣勢。この間、カメラは生徒の列の間を縫って走り、最後はクレーンで全体を見下ろすという、凝ったカメラワークで撮影された。製作会社のムービーアイ・エンタテインメント

### ロケ撮影記

#### 7月19日 制作発表

「物語が書かれた場所を大事に考えている。」水戸の三の丸庁舎(旧県庁)で開かれた制作発表。長澤雅彦監督はオール茨城ロケにこだわる理由をこう説明した。「高校生が一晩かけて歩く物語だが、単に歩くだけではない、さまざまな伏線が張られている。小説そのものの面白さに惹かれた。」と同監督は原作を高く評価する。

「この夏は甲田貴子になりきります。」きりつとした表情でまっすぐ前を見ながら抱負を語る多部末華子さんは16歳の現役高校生。今年相次いで公開されている「HINOKIO」「青空のゆくえ」などに出演している若手実力派だ。相手の西脇融役を務める石田卓也さんは18歳。「体力勝負。暑いけれど乗り切ります。」さわやかな容姿でテレビドラマ「青春の門・筑豊編」や時代劇映画「蝉しぐれ」(今年10月公開)に出演している若手俳優の有望株。3人はロケ前に実際に歩く会を体験してみようと、スタッフたちと一緒に60キロを歩いたエピソードを披露。「経験を演技に生かしたい」と話した。

#### 7月20日 備前堀でクランクイン

記念すべき最初の撮影には貴子の母親役を務める南果歩さんが水戸入り。水戸市斎場でのお葬式シーンを撮影後、水戸の下水地区の備前堀周辺では母親役の南果歩さんと貴子役の多部さんが親子の会話をしているシーンが撮影された。「本番ヨーイ」の掛け声がかかり、周辺一帯は撮影現場らしい緊張感に包まれた。この日の朝、水戸一高に「爆破予告」なる脅迫文が届き、全校生徒が一時避難して警察が「爆弾」を捜す事件

#### ■長澤雅彦監督に聞く■

炎天下と真夜中の撮影にもかわらず、エキストラの皆さんはよく頑張ってくれた。「暑い、眠い」の繰り返しだったが、日に日に盛り上がり、僕たちはずいぶん勇気付けられた。プロデューサーとは「大きな空間で大きな映画を撮る、スケールの大きな青春映画」というテーマを課していた。それは実現できたと思う。

僕の出身高校である大館鳳鳴高校も旧制高校からの伝統で真夜中に出発して40キロを歩く「競歩大会」があった。だから明け方の雰囲気とか疲労感とかは、「歩く会」に重なり合う経験がある。水戸一高OBの皆さん方は「歩く会」への思い入れがずいぶん強いようですね。でも映画はあくまでも架空の物語です(笑)。恩田さんの小説のキーワードは「ノスタルジー」。青春真っ只中にいる人はその輝きに気づかない。当人たちは青春って毎日大した変化がないものだと思っている。でも終わって振り返ってみて輝きに初めて気づくもの。この映画はぜひ若い人たちに見てほしい。青春はそんなに変化に富んだものではないけれど、それでいいじゃないって。でも映画はドラマがありますよ(笑)。





第26回吉川英治文学新人賞、  
第2回本屋大賞を受賞した  
「夜のピクニック」

(新潮社刊)

の牛山拓二プロデューサーは「スケールの大きな青春映画になりそうです。」と手ごたえを感じている様子。

### 8月11日 感動のゴールシーン

東海、鹿嶋、ひたちなかと水戸を離れてのロケ撮影を終え、再び、水戸一高グラウンドへ。600人近くを集めてゴールシーンの撮影。主役の多部さんたちがゴールするヤマ場だ。重みのあるシーンゆえ緊張した面持ちの多部さん。おそらく気持ちを高めていたのだろう。「OK」が出ると張りつめた感情がほぐれたのだろう。いつもの笑顔の彼女に戻り、笑顔で雑誌社のインタビューに答えていた。女優魂を持つ彼女は現在高校二年生。

### 8月14日 台風迫る中、話は佳境に

お盆も関係なく「夜」撮影が続く。那珂市の工業団地内の直線道路を歩行祭コースに見立て、物語はいよいよ佳境に。異母きょうだいである貴子と融はお互いを意識しながら、これまで一度も言葉を交わしたことがない。「歩行祭」が進むにつれ、2人の関係に変化が起こるのか？シリアスな会話の一方で、個性的な役柄の友人たちが次々に登場して物語を盛り上げる。

台風に刺激された前線の影響で、時折強い雨が襲う。そのたびにエキストラは用意されたテントに逃げ込む。おなかの虫が騒ぎ出す夜、待機所にはおにぎりが用意され、エキストラはほんのつかの間ではあるが、休憩を取る。疲労感の漂うなか、エキストラを励ますのは、ボランティアスタッフの大学生たちだ。彼らは「歩行祭実行委員」としても出演し、高校生たちをリードしていく。この時期になるとエキストラも定着し、ムービーアイの上原英和プロデューサーは「どんどん演技が上達してくる」と驚いた様子。

### 8月19日 作家VS監督 初顔合わせ

この日、原作者の恩田陸さんがプライベートで来水。撮影チームが宿泊するホテルで、監督と初顔合わせ。「恩田さんは同い年で、早大時代

## ロケ撮影に参加した現役生徒、OBに聞きました

### (1) 西野 陽子さん (1年 13組) 星野和佳子さん (1年 16組)

いつも撮影現場で一緒にいるこのロケに参加して初めて知り合ったとか。本番の「歩く会」を前に一足早く「歩行祭」を体験した二人に感想を聞いた。

**西野** 原作を読んでエキストラに応募した。自分の学校の行事が映画になるなんてうれしい。3年7組に選ばれてびっくり。

**星野** 主役の近くにいるだけでも楽しい。今まで芝居に興味なかったけれど、俳優さんの演技を見てるとずいぶん影響される。スタッフの人から「今の入り方良かったよ」と言われてドキドキした。

**西野** 毎回演技指導のペーパーが渡され、面白いことが書いてある。本日の役作りに関する内容で「水虫が他人にはれないように気になっている」とか「今日は前髪が気になって仕方ない」とか。

**星野** 水泳部だったのでプールサイドの場面で飛び込む役をもらいました。でも長い時間待ったり歩いたりで大変。映画でこんなに疲れるのに本番はどうなるだろう？

**西野** 救護バスには乗りたくないね。

**星野** 今年は絶対乗りたくない。



星野和佳子さんと西野陽子さん  
(左から) 8月14夜撮影。  
二人ともやや疲労気味。



8月2日の1,000人ロケで、  
水を配る谷口能彦くん。

### (2) 谷口能彦さん (平15卒 筑波大3年)

エキストラの中でも「実行委員会」の役は過酷だ。撮影現場ではエキストラの一員として振舞いながら、一方でクラスの隊列を整えたり、水を配ったり、車に注意したり。撮影が終われば明日の出演するエキストラの出欠確認が待っている。高校生たちの悩みも聞く。そんな激務をこなしていた谷口さんは、高校時代は演劇部に在籍。2年生のときは運動部に交じって自由歩行で57位に入った。「歩く会が今の自分をつくってくれた。今でも走ること好き」という。ロケ期間中は水戸にアパートを借り、一日も休まず参加した。猛暑と連日の深夜ロケで体重が減ったが「昔できなかったことを今取り戻している感じ」と苦にならない様子。「原作が映画になると聞いただけでもわくわくした。映画によって歩く会が全国に知られるのがうれしい。」

の同級生でもあるんです。学生時代の話などで意気投合しました。『明日は早朝からロケがあります。見に来てください。』とお誘いしたら、恩田さんは快くOKしていただきました。」と長澤監督は語る。

### 8月27日 クランクアップ

最後のロケ撮影となった場所は水戸市郊外の旧常澄村の神社。近くを高速道路が走る田園地帯に照明が取り付けられ、つづら折の急な坂道を融役の石田さんと親友・戸田忍役の郭さんが駆け降りてくるシーンだ。カメラを積んだ軽トラックがエンジンを切り、先頭を切って何度も坂を下りながら撮影が進む。午後10時過ぎ、最後のカットを撮り終えると、スタッフから自然と拍手が沸き起こった。長澤監督、主役たちを囲んで乾杯。「やったー」「おつかれさまでした!」。スタッフたちは40日の奮闘を称え、抱き合って喜んだ。ロケ撮影の終わりはいつも寂しげだ。機材が撤収され、人がいなくなると、あたりは再び静かな田園風景に戻っていった。

### ■「夜ピク」データあれこれ

**1 撮影期間** 7月20日から  
8月27日まで (茨城ロケ)  
**2 エキストラ参加人数**  
延べ約5000人

**3 撮影場所**  
◇水戸市内 (水戸一高、大手橋、桜川河畔、水戸駅南口、水戸市役所、小吹温水プールなど)  
◇ひたちなか市平磯町、那珂総合運動公園、茨城町溜沼湖畔、茨城町立広浦小学校、東海南中学校、那珂工業団地

**4 エキストラ参加した学校**  
▽大学 筑波大、茨城大、常磐大、茨城キリスト  
▽高校 水戸一、水戸二、水戸三、緑岡、水戸商、水戸工、水戸南、勝田、大宮、鹿島、佐和、那珂湊二、東海、日立一、波崎柳川、茗溪学園、茨城、常磐大高など  
**5 水戸一高生徒の参加人数**  
延べ約650人

**6 父兄、OBの参加者**  
42人 (実際にはもっと多いようです)  
ムービーアイ宣伝部調べ

**■今後の予定■**  
ロケ撮影は8月27日に終了。現在は東京で編集段階に入り2006年年初めに完成予定。全国ロードショーされる。





左：入学式の撮影

下：西原さんと多部さんに演技指導する長澤監督



# 40 DAYS

## 夜のピクニック撮影メモリアル

光を読む

スタンバイする出演者  
かけがえのない一瞬が  
フィルムに記録され  
歩く会の精神が  
カタチになっていった



上：エキストラ1,000人と出演俳優、長澤監督が勢ぞろい。

8月2日、水戸一高で

左上：スタッフから伝えられる指示にうなづくエキストラの皆さん  
左中：歩行祭の出発直後。大手橋から弘道館へ向かう

左下：備前堀を歩く「北高生」

右：自由歩行の直前の場面。東海南中学校で



写真提供者

© 2006 「夜のピクニック」 FILM VENTURUR  
いばらきフィルムコミッション





懐中電灯を手に進む隊列



大手橋の下を通過する隊列の撮影



東海南中での休憩シーン

### 協力に対して県から寄せられた感謝状

謹啓 初秋の候ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。  
さて、水戸一高の歩く会が題材となっている「映画 夜のピクニック」の撮影が、8月31日をもって終了しました。  
7月20日のクランク・インから約40日間にわたり、多くの方々の格別なご協力により水戸を中心に県内6市町村で無事撮影をすることができました。また、高校生役のエキストラも延べ4,500名に上り、監督はじめ制作会社から素晴らしい撮影環境の中で撮影ができたことと感謝されているところです。  
おかげをもちまして、撮影が順調に行われ何事もなく終えることができたこと、ここに謹んでお礼申し上げます。  
なお、映画の上映は、来秋に全国一斉公開を予定しているとのことですが、併せて主要な国際映画祭などへの出品も目指しているということです。  
また、劇場公開前には、県内での試写会も検討されているとのことですので、その際には、是非皆様方にご鑑賞いただければと思っております。  
今後とも、フィルムコミッション事業の推進につきましてご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。  
まずは略儀ながら、書中をもってお礼申し上げます。

謹言

平成17年9月吉日

知道会会長 西野虎之介 殿

茨城県企画部企画課フィルムコミッション推進室長

## 一高だより

### <快挙 陸上競技部>

5月の全国総体県予選において、女子400mリレーで見事、6位に入賞した。陸上女子リレーでは、本校創立以来、初めて関東大会に出場するという快挙である。ゴール直前で、本校の第4走者が前の走者を100分の1秒差で抜いた。本校に勢いが付き、個人の3種目でも関東(栃木)大会出場となった。さらに8月の関東(群馬)大会には、新たに2種目を加えて出場した。全選手が目標を持って努力したことで花を咲かすことができ、更なる目標をもって邁進して行きたい。

### <今 放送委員会は熱い>

今年のNHK放送コンテスト県大会では、創作ラジオドラマ部門で第1位、アナウンス部門と朗読部門で入賞し、県代表として全国(東京)大会に出場し、創作ラジオドラマ部門で20位に入選という輝かしい結果を修めた。また、夏の全国高等学校総合文化祭(青森)にも県代表として参加した。「自分たちのやりたいことをやってみる」というモットーのもと、各自が自分の可能性を信じて活動している。

### <大活躍 吹奏楽部>

6月の全国植樹祭(潮来市)にファンファーレ隊として出演、7月には県高等学校文化連盟の推薦により全国高等学校総合文化祭(青森市)に参加した。また、8月の県吹奏楽コンクール(水戸市)では金賞を受賞し、10年ぶりに東関東吹奏楽コンクール(9月・横須賀市)に出場した。

### <健闘 クイズ研究会>

高校生エネルギークイズ大会(主催:経済産業省・(財)日本立地センター、後援:文部科学省)において、2年生2人が見事、予選通過して、8月の愛・地球博での大会に出場し、全国の強豪相手に5位と健闘した。また、日本テレビ全国高等学校クイズ選手権においても、2年生3人が全国大会に出場し、1・2回戦と勝ち進み、準決勝まで進出するなど、健闘した。

これらの他、弓道部、山岳部、フェンシングなどが全国大会に出場している。



NHK全国高校放送コンテストに出場した放送委員会のメンバー

## EVENTS

17年

- 4月20日 親睦委員会開催
- 5月13日 広報委員会開催
- 15日 昭和29年卒同窓会開催
- 16日 昭和16年卒同窓会開催
- 24日 親睦委員会開催
- 28日 知道会幹事会及び代議員会議開催
- 6月2日 知道会ゴルフ大会開催
- 7日 第2回会員の集い実行委員会開催
- 16日 東海村知道会開催
- 18日 常陽知道会開催
- 18日 土浦水中・一高会開催
- 22日 県庁知道会開催
- 25日 岩間知道会開催
- 25日 水戸・東京広報委員会交流会開催
- 7月12日 財務委員会開催
- 22日 鹿行知道会開催
- 29日 水戸みつば知道会納涼会開催
- 31日 勝田知道会開催
- 8月13日 昭和60年卒同窓会開催
- 16日 水戸下市知道会納涼灯籠流し(備前堀)
- 26日 水戸新荘知道会開催
- 27日 水戸五軒知道会開催
- 30日 広報委員会開催
- 9月12日 昭和25年卒同窓会開催
- 10日～11日  
水戸一高学苑祭
- 11日～12日  
親睦旅行開催(中尊寺・鳴子温泉)
- 17日 日立知道会開催
- 21日 名簿委員会開催
- 10月8日～9日  
水戸一高歩く会  
(奥久慈コース)

### 勝田知道会

勝田知道会(旧勝田市内在住卒業生を対象)は、去る7月31日に、市内グランドホテル武田において、夏の暑い最中の開催にもかかわらず15名の参加を得て、4年ぶりに開催致しました。当日は「知道会」より大川英治事務局長にも出席をいただきました。

会は、宮下照一副会長(S30年卒)の開会のことばよりはじまり、西野恒郎会長(S10年卒)の挨拶で勝田知道会の現況等報告があり、打越国道先輩(S15年卒)の乾杯によって懇親会になりました。

今回も受付の時より、同期の人達同士の輪ができて話が弾んでおりましたが、懇親会ではさらに盛り上がりを見せ、学校にいた時や現在の生活や仕事についての話が弾み、名刺を交換する姿も見られました。又、会員によるゴルフコンペの話も出てきました。

最後に、小野修幹事(S43年卒)による校歌斉唱が行われ、大和田邦朗副会長(S28年卒)による閉会のことばで締めめて散会となりました。

現在旧勝田市内には約1,600名の会員があり、前回に比べて返事の戻りが多く、関心の高さを感じました。

幹事長 海野宣三(S40年卒)

### 土浦水中一高会

当会の名称には「土浦」を冠していますが、会員の対象地域は県南地区全域で、会員数は200名です。

毎年恒例の総会を、去る6月18日(土)、午後5時から、土浦市の「ホテルカンコー」において開催しました。知道会本部から、会長代理として事務局長の大川様を来賓にお迎えし、総会・講演会・懇親会を行いました。

講演会は、今春開校した県立

江戸崎総合高校長である磯田績氏(S39卒)にお願いしました。「高齢化社会の中の高校生」という演題で、現代高校生の家庭・社会環境について、実際の指導に基づいたお話で大いに参考になりました。特に、自己中心的な高校生が多い中で高齢者の存在は大きく、年寄が家にいるだけで「生と死」を教えることになり、「少子高齢化もまんざら捨てたものではない」という言葉に勇気づけられました。

懇親会では、フリートーキングの時間を設け、初出席者等のスピーチもあり、思い出話で盛り上がり時間が忘れるほどでした。

なお、今回初の試みとして、総会の開催時期や他の行事についてのアンケートをとりました。次回は幹事会で検討することになります。

つくばエクスプレス(TX)もこの夏に開業して県南地区も益々活気づく中、当会の一層の発展を期待して報告とさせていただきます。

(S34卒・会長友部記)



### 卒業50年の歳月を超えて

去る5月28日、三の丸ホテルに102名が参席、学年同窓会を盛大に催すことができました。旧交を温めながら二次会へ40名、三次会へ22名と去り難く夜の一時を過ごした。

先ず木村会長の挨拶後、宴会に先立ち県磯節保存会会長福田佑子さんの磯節演奏を身近に鑑賞し、全員が一段と気力充溢した開会となった。

座席は、クラスごと8つのテーブルに集まり、スナップ写真を撮り合



## 牧 二郎氏を偲ぶ

元本校教諭・石川禎紀(昭30卒)

う等50年ぶりの再会に酔いしれていた。

中締めには、当時甲子園出場を果たした野球選手橋本政雄(投)、細谷敬(捕)、玉造陽二(外)、川崎正之(マネ)、小森浩二(応援団副団長)、の面々が登壇し、あたかも同時にタイムスリップ、実況さながらの報告で一気に若返ってしまった。

大和田・橋本・高畑先生には、これより先の昨年の秋に常陸太田名産巨峰を、続いて阿字ヶ浦名産干しいもを進呈し、今回、第三弾機関誌5号と参加者の「寄せ書き」を進呈した。「寄せ書き」を手にした各先生からの感激の電話は30分にわたり、我々との交わりを語ってくれた。

母校には、20年前に寄贈した常夜灯の台座に改めて「甲子園への歩み」を刻むプレートを設置することとした。

今回の同窓会が、会員の協力で無事乗り切ることができたことを幹事一同感謝し、次回の5年後に向け、全員が健康で再開できるよう祈念し会を閉じた。

藪部昌美(S30卒)

第36回全国高等学校野球選手権大会  
甲子園大会出場への歩み

昭和29年(1954)茨城県大会(水戸)

決勝 水戸一高 11対2 土浦一高  
県代表北関東大会(水戸)

第一回戦 水戸一高 2対0 高崎商高

第二回戦 水戸一高 2対1 宇都宮工

第三回戦 水戸一高 4対1 桐生高

甲子園 全国大会 8月13日

第一回戦 水戸一高 0対3 中京商高

## 昭和60年卒同窓会

去る平成17年8月13日、ホテルレイクビュー水戸にて池田都實康先生、青山孝明先生、吉田洋幸先生、友部発夫先生、坪満夫先生、知道会事務局より大川事務局長に御出席いただき、60年卒知道会を無事開催

牧二郎氏(昭20卒)が、5月31日に逝去された。といっても、多くの方はご存じないかもしれない。知る人ぞ知るで、毎年のようにノーベル賞候補にあげられていたのである。

今の本校の在校生たちは、「総合の時間」に、水戸一高の歴史を学ぶことになっていて、百年史編集の一員だった私は、依頼されて話すことがある。その際に、いわば付録版として、各界の著名な卒業生を紹介しており、むしろ



湯川秀樹博士(右)と並ぶ牧二郎氏(中央)

牧氏もそのうちの一人である。氏に本会報の前身「水中一高会会報」第12号(昭53)に先輩として登場してもらったのは、私が在職中で、編集に携わっていたときであった。

氏は父上の転職により、昭和16年5月に旧制和歌山中から転校し、敗戦の色濃い20年3月卒業、いわば太平洋戦争とほぼ重なっている。「暗い谷間」の学生生活を記すなかで、級友たちとささやかな同人雑誌を作った思い出を語る。この学年は修業5年を1年早く繰り上げられ、その記録が氷中第67回卒業生「戦闘帽の中学生」(平成13年11月刊)にくわしく、本紙60号にも紹介がある。この本は、水戸市立見川中で教鞭をとった同窓生柳田昭氏の献身的な努力による労作で、「時代の子」たる運命をひたむきに生きる生徒たちの姿に思わず目頭が熱くなる。

さて、牧氏の死去は中央の大新聞各紙に報じられたが、その後朝日新聞は隔週月曜の夕刊「惜別」(6月27日)で、素粒子物理学者として報道、高名な物理学者朝永振一郎教授と並んで門下生時代の写真を掲載している。氏は、20年7月に旧制水高に合格したもの、東京文理大(現筑波大)に進学して朝永教授に学び、30年名古屋大に移り、坂田教授らと37年に予言した「ニュートリノ振動」理論が有名であった。近年、例の小柴正俊名誉教授の岐阜県での実験で検証されたが、むしろ牧氏の先見性こそが高い評価を得ていた。41年に京都大に転じてからは、湯川秀樹氏のことについて京大基礎物理研究所の第2代所長となり、広い立場で物理と人を育てたという。

本校創立百周年の昭和53年、記念行事の一環として、氏は「私と物理学の出会い」と題する講演をした。第一線の学究による話には在校生の感激も大きかった。あれから27年、先輩は湯川、朝永教授たちのもとへと旅立った。

する事ができました。ご多忙中にもかかわらずご出席くださいまして、誠にありがとうございました。

女性の出席者も多く女子校の同窓会の様に華やかなものでありました。痩せた人、太っちゃった人、毛が飛んでいった人など、微分積分しないとわからないぐらいの若干の異変はありましたが、卒業後20年ぶりの再開は、バカばっかりやっていたあの頃に戻った様な感覚になり、とても楽しく、時間が短く感じられました。

最後に、開催にあたりまして、ご協力を賜りました関係の方々、並びに実行委員各位に深く御礼を申し上げますと共に、皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

原口哲也

## 第2回 OBミニ歩く会 —茨城の歴史再発見—

2回目の開催となる今年は、自然と名所旧跡を訪ねて歩く約9kmの「うりづらロマンロード」にいたしました。常陸二の宮「静神社」、「静峰ふるさと公園」、白鳥越冬地「古徳沼」と日常を離れ、秋の一日をゆっくり楽しんでいただければと思います。

世代を超えた交流の場として、また、ご家族で、と形にこだわることなく気軽に参加できる会です。ぜひ多数のご参加をお待ちしております。

期日 平成17年11月23日(祝日)  
9:30集合 10:00出発

所要時間 約5時間

参加費 1,000円(大人のみ)

※飲み物・昼食は、こちらで用意いたします。集合場所等については、後日ご案内いたします。

申込先 知道会事務局(月・水・金)  
TEL029-226-3960  
FAX029-226-4157

# 委員会

## 総務委員会

知道会の皆様、お元気でお過ごしでしょうか。それにしても今年の残暑は厳しいものがあります。くれぐれもお体にお気を付けてください。

歩く会を題材とした小説、知道会出身の恩田陸氏著、「夜のピクニック」が映画化されることも話題となっているようです。

さて、11月12日（土）、常陽芸文センターにて「会員の集い」が開催されます。毎年当番幹事の方々によりまして内容に工夫を凝らし、200名を越す盛会となり、参加者目標数を300名に照準を合わせて奮闘しているところです。

ぜひご参加なされて、旧交を温められてはいかがでしょうか。詳細は別項を御覧ください。

ご協力に感謝いたします。

知道会親睦ゴルフ大会は、6月2日（木）大洗ゴルフクラブにて72名の参加者で実施されました。好天気に恵まれ熱戦がくりひろげられました。若い方々のご参加が少なく残念な気がします。次年度には女性も含む、若い方々のご参加もお待ちしております。

親睦旅行は、9月11日（日）～12日（月）に26名の参加者で平泉中尊寺と松島海岸を巡ってきました。車内では和気あいあい、鳴子温泉ではカラオケ大会、楽しいショーと話題のつきない2日間でした。次年度は伊豆方面を計画しています。立寄り施設などのご希望などご意見などございましたら知道会事務局までどうぞ。

### 参加者募集

別掲にありますとおり、OBミニ歩く会の参加者を募集しております。150名ほどのご参加者を目論んでいます。今回も茨城県ウオーキング協会の川上清さん（29年卒）のご指導を受けて実施します。ご参加お待ちしております。

親睦委員会 木村 利

## 親睦委員会

## 財務委員会

知道会会費は個人々からの送金に頼っていますが、今の方針を基本にしながら、組織がある場合はその組織を中心に取り纏めては如何かと思います。

つまり組織の幹事さんが会費の取り纏めを行うのです。年に1回ほどは集まる機会もあるかと思えますので、その折に「たったの2000円」を上乗せしてもらえばいいのです。

特に、職域の場合はその効果は絶大だと思っております。

昨年度は、わが職場でも行いました。私が取り纏めましたが、短時間で全員（たったの16人ですが・・・）から快く預かることが出来ました。当然、今年度も行います。

今、財務委員会では6,000という数字がキーワードです。何とか6,000会員からの会費納入を達成したいと奮闘しております。

予算があれば、活動も充実してきますし、相乗的な効果が得られます。

つまるところ、会費納入のお願いになってしまいましたが、知道会、いやわが母校のために皆さんのご協力をお願いします。

根本祐一（S46卒）

個人情報保護法が制定され、個人情報に関して非常にシビアな時代になりました。知道会会員名簿は年2回の会報の配布や、タテ・ヨコの同窓会の連携に必要な不可欠のものと考えております。

いよいよ次回の発行（平成19年）が近づいてまいりましたが、予定どおりの発行を考えております。その節はご協力の程よろしくお願い申し上げます。

なお、市町村合併が全国各地で実施されており、住所変更、住所表示変更の場合は事務局まで御連絡ください。

常時メンテナンスを実施しております。

連絡先 知道会事務局（月・水・金）

TEL 029-226-3960

FAX 029-226-4157

## 名簿委員会

## 事務局だより

**JR西日本の尼崎における脱線転覆事故により多数の犠牲者が出た報道はまだ記憶に新しいところです。まさかその中に本校OBのIさんが含まれていたとの情報にびっくりいたしました。50代前半の若さで、製薬会社の工場長という要職にあり、これからの活躍も大いに期待されていたと思います。志半ばでの突然の事故死、さぞ無念であったと思います。心からご冥福をお祈りいたします。**

**本校卒業生も全国各地、いや世界中で活躍されている方が多数おられると思いますが、「テロ」や事故に遭わないよう祈りたいと思います。**

## 物 故

14.	昭9	山崎平八郎	16.11.6	昭23	小林 聰	17.3.30	昭25	寺門孝雄
14.2.28	昭20	⑤桑名一雄	16.11.6	昭27	加藤木琢磨	17.3.31	昭26	打越 肇
14.5.16	昭20	④河村榮二	16.11.29	昭8	川又 忠	17.4.2	昭26	太田泰充
14.11.18	昭8	谷中 忠	16.12.18	昭20	④後藤和巳	17.4.5	昭31	川上清重
14.11.23	昭7	堅田誠一	17	昭11	小鹿栄一	17.4.7	昭26	田中収司
15.5.31	昭19	安永美津雄	17	昭16	大森 茂	17.5.7	昭26	石川幸男
15.12.13	昭53	星野 敦	17	昭16	菅 秀忠	17.5.8	昭5	海野三次郎
16.2	昭32	小野打(齊藤)悦子	17	昭47	稲毛 勝	17.5.12	昭21	河野 顕
16.4.20	昭31	斉藤郁夫	17.1.17	昭19	桑名元夫	17.5.23	昭5	山本盛忠
16.4.29	昭20	⑤横山和郎	17.1.23	昭4	幾浦道弘	17.5.24	昭23	久賀谷寛
16.5.28	昭11	黒瀬庄慶	17.1.26	昭6	高松一郎	17.5.26	昭31	細谷忠通
16.6.29	昭42	矢萩則夫	17.1.27	昭32	軍司太平	17.5.26	昭14	茅根哲夫
16.8	昭36	佐久間 邁	17.2.3	昭36	小林義雄	17.5.31	昭17	雨谷 顕
16.8.1	昭3	中村秀弥	17.3.1	昭20	⑤伊藤 昭	17.5.31	昭20	④牧 二郎
16.8.4	昭13	五来日吉	17.3.8	昭18	萩庭行雄	17.6.4	昭40	多田速雄
16.9.4	昭12	菊池正己	17.3.10	大15	井坂重陣	17.6.9	昭6	大串 章
16.9.10	昭27	小笠原雄輔	17.3.14	昭14	黒川三郎	17.8.6	昭10	岩崎英雄
16.10.31	昭27	大山登曠	17.3.19	昭12	矢萩 泰			
16.11.4	昭22	荒木功郎	17.3.24	昭20	⑤井上正治			